

令和5年度第2回狭山市社会教育委員会会議 会議録

開催日時 令和5年10月23日(月)
13時30分から16時00分まで
開催場所 入曽地域交流センター 小ホールA+B
出席者 横山委員 石塚委員 八瀬邊委員 今福委員
角田委員 齊藤委員 小熊委員 中間委員
菅野委員 田中委員 平岡委員 上西委員
欠席者 佐野委員 鈴木委員 黒川委員 恵比須委員 河口委員 橋北委員
中谷委員 田ノ上委員
事務局 内藤生涯学習部長 石井社会教育課長 小暮 三ツ木
傍聴者 0名

1 開 会

2 あいさつ 部 長

3 あいさつ 横山議長

4 報告

ア. 社会教育関係団体に対する運営費補助金について

令和5年度第1回社会教育委員会会議において委員より指摘、意見があった社会教育関係団体補助金について、事務局より資料に基づき説明をした。

委 員 令和4年度は団体に対し財源について指導・助言をしたようであるが、本年度は活動内容の精査についても実施予定のようである。団体の活動内容が社会教育関係事業であるかどうかの精査は補助金の交付を考える中で重要な視点であると思う。今後も活動内容を考えながら補助金の交付をしていてもらいたい。個人的にはPTA連合会の高校説明会は社会教育活動の範疇に入るのか疑問に思っているので、様々な方の意見を聴きながら各団体の補助金の交付について考えていてもらいたい。

事務局 各団体の個別事業の実施の可否を社会教育課が判断することは社会教育法12条の不当な干渉に該当すると考える。

社会教育委員会会議において意見を徴する目的は、補助金を交付したことにより、各団体に不当な統制的支配や、事業に干渉を加えていないかどうかをチ

チェックしてもらうことが主な目的であると考えている。また、補助対象となる経費は市の補助金要綱で定められており飲食費や慶弔費など補助対象経費として認められない支出項目については補助金の額確定算出から除いている。

来年度以降お配りする団体資料については事業欄を含め書式を検討する。

委員 高校説明会の対象は小学校5年生からであり、できるだけ早い段階から児童や保護者に対し、高校とはどういうものなのかという情報を提供する場として重要な事業であると自分は考えている。

5 協議事項

ア. 狭山市における地域学校協働活動について

上記をテーマに3グループに分かれディスカッション(グループワーク)を行った。各グループの代表により、次のとおり結果発表があった。

Aグループ

ふるさと意識とはどういうものなのかについて改めて考え、人と人のつながりがもっている状況にあるのではないかという結論に至った。

そのためには、人が集まって活動する機会を作ることが重要であり、社会教育委員の役割として人と人とのつながりを作れるような仕掛けをするというものがあり、我々も身近でそういった仕掛けができないか考える必要があると思う。

Bグループ

子供のころから地域の行事に親子で参加できるような場を企画できれば良いのではないかと考える。また、今年度は地域とのつながりとして、中学校のバザーに併せて、小学校で地域の人に次年度に入学する生徒が使うバックなどを作ってもらい販売をしてもらった。

また、学校のニーズに合った地域の人材を上手く紹介できるようにできればよいかと思う。

Cグループ

親子で参加や体験できる行事の担い手がいることが大事であり、地域で活動している方はたくさんいるので、縦のつながりを横に広げていくことが必要だと思う。

そのなかでSCSC(すくすく)の役割は重要であると考えている。

議長 今年度行ったグループディスカッションのまとめ方や報告の方法について、今

後のスケジュールを教えてもらいたい。

事務局 来年度に地域学校協働活動や学校運営協議会委員に関する研修会を実施する予定であり、委員の方にも出席し報告をしていただければと考えている。出席が難しい場合は紙資料で配布を行いたいので各グループの報告をまとめていただきたい。

6 事務連絡

11月に開催予定の市民文化祭及び11月16日に開催予定の入間郡市人権フェスティバルについて事務局より説明

7 閉 会 副議長